

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 3年 10 月 22 日

設置・運営主体	春日部市		
設置主体	春日部市		
経営主体	春日部市		
事業所名 (施設名)	春日部市立第7保育所	種別	保育所
所在地	〒 344-0058 春日部市栄町3丁目166番地		
電話	048-754-7426		
FAX	048-754-7426		
Email	hoiku07@city.kasukabe.lg.jp		
URL			
施設長氏名	新宅 美香		
調査対応担当者	新宅 美香 (所属、職名：春日部市立第7保育所 所長)		
利用定員	66名	開設年	昭和 49年 4月 1日
理念・基本方針	<p>保育理念 一人ひとりの子どもに寄り添い、家庭や地域の人々と協力し合って、豊かな人間性を持った子どもを育成します。</p> <p>保育目標 明るく元気な子 思いやりのある子 自分で考えて行動できる子</p> <p>保育方針 (1) 心身共に健康に、安全で安定して過ごすことのできる環境の中で楽しく活動します。 (2) 地域の人や異年齢・異文化の様々な関わりを通して一緒に遊び楽しさを体験しながら、優しい心を育みます。 (3) 自然や身の回りの様々なものを遊びに取り入れ、物を大切にすることや生命の尊さに気づける経験を重ねていきます。 (4) 「おもしろい」「やってみたい」という気持ちを大切に、意欲的に様々な活動に取り組む中で、自己を十分に発揮する力を育みます。 (5) 言葉への興味や関心を育て、豊かな心・思考力・表現力の基礎を培います。 (6) 一人ひとりを大切に、個性や個人差に考慮した保育を行います。 (7) 地域から信頼される保育所をめざし、積極的に子育て支援を行います。</p>		
開所時間 (通所施設のみ)	月曜日～土曜日(祝日は除く) 午前7時～午後7時		

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

	定員	利用児童数	クラス数	1クラスあたり 平均児童数	1クラスあたり 平均保育士数		
0歳児	6	6	1		2		
1歳児	6	8	}	1	}		
2歳児	9	9				4	
3歳児	}	10	}	1	}		
4歳児		45				10	2
5歳児						15	1
計	66	58	4	—	—		

(注) 1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

常勤職員数		12人			
うち	保育士	12	人	保健師・看護師	0人
	栄養士・調理員	0	人	その他（委託調理員）	2人
非常勤職員数		4人	（常勤換算	人）	
うち	保育士	2人	（常勤換算	1人）	
	保健師・看護師		（常勤換算	人）	
	栄養士・調理員	委託調理員	1人	（常勤換算	人）
	その他（	委託用務員	1人	（常勤換算	人）
<p>(注) 常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。</p>					
(2) 前年度採用・退職の状況	採用	常勤：	0人	非常勤：	1人
	退職	常勤：	1人	非常勤：	0人
(3) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢		42歳（42歳）			
(4) 常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数		11.4年（11.4年）			
<p>(注) 現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体(法人・自治体)内の児童福祉施設間の異動は通算可(公営の場合には保育主管課在職期間も通算可)。小数点以下第二位を四捨五入。</p>					

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

事業名	実施の有無	利用料
乳児保育	○	—
延長保育	○	0
休日保育		
障害児保育	○	—
一時保育	○	1,700円 (食事なし) 2,000円 (食事あり)
地域子育て支援センター		
乳幼児健康支援一時預かり事業 (病後児保育)		
アレルギー等対応給食	○	—
その他 (事業名 :)		

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 2 年度におけるボランティアの受け入れ数 (延べ人数)

0 人

・ボランティアの業務

--

【実習生の受け入れ】

・令和 2 年度における実習生の受け入れ数 (実数)

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 保育士 6 人

看護師 4 人

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

(1) 建物面積 (保育所分)	684.49 m ²	
	児童1人あたり	10.37 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員)
(2) 園庭面積	1826 m ²	
	児童1人あたり	27.6 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員)
(3) 耐火・耐震構造	耐火	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
	耐震	<input type="checkbox"/> 1. はい <input checked="" type="checkbox"/> 2. いいえ
(4) 建築(含大改築)年	昭和	49年

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

・朝夕の送迎時にご家庭の様子を伺ったり、保育所でのエピソードを伝えたりすることを大切にしています。コロナ禍、ベランダ送迎をしているため、短時間での対応となりますが、必ず1対1で対話ができるというメリットもあります。表情や声のトーンから、保護者や子どもの体調や心情を察し、寄り添うことを心がけています。安心して思いや意見を発信できるような雰囲気作りを心がけています。

・今年度から、月目標に対する活動の様子を写真掲示しています。写真を見ながら子どもの様子を伝えあうことができている。会話のきっかけを作ることから、保護者の思いを引き出せるようにしています。

・保護者からいただいたご意見に関しては、伝えていただいたことに感謝すると同時に、即日検討し、対象家庭のみならず全体への改善に努めています。

・保育所のしおり(重要事項説明書)に苦情窓口設置についての案内を掲載し、年度初めの懇談会で周知しています。

・コロナ禍において、全員対象の懇談会は実施しませんが、希望者を募り、個別懇談を行う予定です。日々のコミュニケーションの延長から、場を変え時間を設けることもあります。まずは、保護者の思いを傾聴し、最終的に保護者が意向を決定できるような懇談となるよう努めています。

・保護者の会からの要望に関しては、回答書を作成します。保護者の会会長には詳細を口頭説明し、確認いただいた後掲示をします。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

・自然に恵まれた広い所庭で、のびのび好きな遊びを見つけ、とことん楽しむことができます。四季折々の植物や昆虫、小動物などに触れ、観察したり実験したりしながら興味関心を深めています。また、広い空間での鬼ごっこや砂場での感触遊びも存分に楽しんでいます。

・昨年度より「第7遊園地」というテーマを掲げ、室内外で固定遊具や体育用具を用いて、心と体を育んでいます。広い所庭、広い遊戯室を使用し、思い切り体を動かすことができます。遊園地のような楽しさをイメージしながら、5歳児が用具を設定したり、好きなコースを選びながらサーキットをまわったり、子ども達の思いを引き出し楽しむ工夫をしています。

・1. 2歳児混合クラス、3. 4歳児混合クラスの特徴があります。年齢別に計画を立て、各年齢の発達やクラスカラーに即した活動を実施しています。年上へのあこがれや年下への思いやり、クラスの枠を超えた個々の尊重など、異年齢の良さを活かしつつ、年齢発達に応じた援助が行えるようクラスの連携を図っています。

・コロナ禍で地域の方との交流が実現できていませんが、子ども達が製作したメッセージカードを自治会長と地区公民館に持参しました。その後公民館から、保育所児童の作品展開催の提案があり、今後検討していく予定です。季節のメッセージカードを製作し、持参場所を増やしながらか地域とのつながりを保ち、今後の交流につなげたいと考えています。

・今年度は、保育の充実を図ると同時に、感染症対策に力を注ぎました。子ども達の心身の成長を第一に考えつつ、現状の体制の中で強化できる工夫点について、全職員で考えあう機会をいただきました。疑問を出し合いながら、日々対策を更新しています。

・あらゆる災害を想定した避難訓練の実施をしています。毎月1日及び15日に実施し、災害伝言ダイヤルの登録をしています。所長、上席、クラス担任が課題を見つけられるよう立案し、その都度課題の分析を行っています。水害を想定した訓練では、近隣の方に案内してもらい高台に上がる経験もできました。災害伝言ダイヤルには、キーワードを入れ、より多くの方に体験してもらえよう工夫しています。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

0 回 （平成 年度）